

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地		
所在地	三浦郡葉山町下山口・一色・堀内		
サイトURL	http://www.hayama-park.com/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (葉山公園：昭和32年4月、はやま三ヶ岡山緑地：平成9年7月)		
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社		
指定期間	R4.4.1 ～ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がS評価となったため、3項目評価はS評価となった。 マリンレジャー客を中心に、多くの来園者が訪れた。葉山公園では、特徴であるクロマツの保全や芝生広場の適切な管理に努め、はやま三ヶ岡山緑地では、園路際や緑地周辺の適切な樹林管理を行うことで、来園者の増加や満足度の向上など、良好な公園運営が行われていた。 今後も、葉山公園では、海浜植物やクロマツを保護・育成する維持管理や地域との協働による公園管理等の良好な取組を継続するとともに、利用者層の拡大に向けた更なる取組の充実が望まれる。はやま三ヶ岡山緑地では、植物育成のための良好な維持管理及び自然を活かしたイベントを継続するとともに、公園内や公園周辺の安全を確保する樹林管理について、更なる取組の充実が望まれる。 <各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 葉山公園は、景観の保全や魅力向上を図る取組が行われ、提案どおりの管理運営状況にある。はやま三ヶ岡山緑地は、都市林としての良好な自然環境の維持・保全に取り組み、提案どおりの管理運営状況にある。 (1)葉山公園 維持管理に関しては、クロマツの保全のため松枯れの処理をした分の補填として植樹を実施し、裸地化した芝生の修復を実施するなど、公園の魅力向上に向けた取組がみられる。 利用促進に関しては、公園前の海岸を利用した海のワークショップや近隣施設と連携したスタンプラリーなどを開催した。 (2)はやま三ヶ岡山緑地 維持管理に関しては、日常的に丸太階段の点検補修や消防用ポンプエンジンの作動点検の強化を行うなどの施設利用者の安全に努めている。 利用促進に関しては、近隣施設と連携したスタンプラリーの他、海浜部のロケーションを活かしたヨガ教室を行い、来園者の増加への取組が図られている。 地域連携の取組に関しては、地元NPOと連携した地域イベントの開催など、イベントを通して地元の方が公園に親しめる機会の提供にも努めている。 ◆利用状況 年間を通じてマリンレジャー客が多く来園した結果、利用者数は前年度比で101%と増加し、目標達成率が100%となったため、A評価となった。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が97.8%と高い評価を得たため、S評価となった。 ◆収支状況 目標値以上の利用者数で、駐車場収入が増え、収支比率109%となったため、S評価となった。 ◆苦情・要望等 各苦情・要望等に対して、適切に対応した。 ◆事故・不祥事等 なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 特になし

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	A	S	S	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2ヵ月に1回程度	「月例報告の確認」に併せて適宜現地に赴き、施設の管理運営状況の実態を確認。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	年に1回程度	県と指定管理者との間で連絡協議会を開催し、施設の管理運営上の課題等について、意見交換や情報共有等を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ ☒ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持管理 (1) 葉山公園の維持管理について ①クロマツの保全 ②裸地化した芝生広場の修復 ③トイレコーティング ④ハマナスの育成管理 (2) はやま三ヶ岡山緑地の維持管理について ①人気のある眺望を保つための計画的な支障枝と枯木の伐採 ②消防用ポンプエンジン作動点検の強化 ③ベンチ等の塗装による長寿命化対応 ④劣化した丸太階段の補修	(1) ①樹幹注入によるマツクイムシの駆除を実施した。 ②砂地化した土壌を黒土に入れ替え十分な施肥を行い、芝生が生育しやすい環境を整えてから敷設した。 ③便器のコーティングを実施し、清掃作業効率化を図った。 ④化成肥料の施肥とカイガラムシの駆除を実施した。 (2) ①枯木、支障枝の伐採を実施した。 ②適切に対応した。 ③塗装前にヤスリで磨き上げてから塗装し、清潔感を保った。 ④あじさいコースを主として、腐食した階段の補修を行った。	来園者へのサービス向上や適切な植物管理を行うための取組を実施しており、今後も継続して取り組まれることを期待する。
利用促進のための取組 (1) 葉山公園の利用促進方策について ①誰もが楽しめるイベント・教室の実施 ②パブリシティ活動 ③キッチンカーの導入 (2) はやま三ヶ岡山緑地の利用促進方策について ①誰もが楽しめるイベント・教室の実施 ②プロモーション活動	(1) ①海のワークショップ、スタンプラリーなどのイベントを実施した。 ②利便性の高い情報をホームページに掲載し、タウン誌などにも公園の最新情報を掲載した。 ③県及びキッチンカー事業者との調整により、定期的なキッチンカー導入は困難と判断した。 (2) ①スタンプラリーを実施した。 ②親しみが持てるリーフレットを作成するとともに、ホームページでも情報を提供した。	概ね提案内容のとおり実施されている。 キッチンカーについては、導入を検討し、業者と調整したが、業者からイベント実施時以外の導入は断られたとのことで、仕方がないと考えられる。
地域と連携した魅力ある施設づくり ①地元NPOとの積極的な連携 ②近隣関係機関との積極的な連携	①地元NPOから講師を招いてイベントを行った。 ②近代美術館などの近隣施設を巡るスタンプラリーを実施した。	地元団体や近隣施設と連携し、魅力ある施設とするための取組を適切に実施しており、今後も継続して取り組まれることを期待する。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等

6. 利用状況

評価	《評価の目安》
A	目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	199,294	201,802	204,823
対前年度比		101.3%	101.5%
目標値	175,933	201,287	203,820
目標達成率	113.3%	100.3%	100.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 葉山公園：駐車場台数及び団体利用者数から推計
はやま三ヶ岡山緑地：目視による計数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞

年間を通じてマリンレジャー客が多く来園した結果、利用者数は前年度比で101%と増加し、目標達成率が100%となったため、A評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	年2回実施した詳細アンケートの結果を使用する。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 90 / 90 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	85	3	2	0	0	90	・綺麗に清掃されている。 ・管理が良く行き届いている。
回答率	94.4%	3.3%	2.2%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	56	5	1	0	0	62	
前年度回答率	90.3%	8.1%	1.6%	0.0%	0.0%		
回答率の 対前年度比	104.6%	41.3%	137.8%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

＜備考＞

利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が97.8%と高い評価を得たため、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	14,850	0	15,518	駐車場：14,818 自販機：700	30,368	30,368	0	
	決算	14,850	0	18,760	駐車場：17,921 自販機：839	33,610	30,303	3,307	110.91%
前年度	当初予算	15,181	0	15,673	駐車場：14,966 自販機：707	30,854	30,854	0	
	決算	15,181	0	17,072	駐車場：16,325 自販機：747	32,253	30,295	1,958	106.46%
令和6年度	当初予算	15,424	0	15,830	駐車場：15,116 自販機：714	31,254	31,254	0	
	決算	15,424	0	17,636	駐車場：16,948 自販機：688	33,060	30,306	2,754	109.09%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位：千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備考＞ 目標値以上の利用者数で、駐車場収入が増え、収支比率109%となったため、S評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	1 件	・障害者専用の駐車スペースに、一般利用客のカヤック等が置かれているため、注意願いたい。	・速やかに専用カラーコーン等を設置し、一般利用者の利用を防止する措置を講じた。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。